



平成29年1月13日

各位

会社名 マルカキカイ株式会社
代表者名 代表取締役社長 竹下 敏章
(コード番号 7594 東証第一部)
問合せ先 取締役兼執行役員管理本部長
飯田 邦彦
(TEL 072-625-6551)

中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、2017年度から2020年度（4カ年）を対象とした中期経営計画を策定いたしましたので、その概要をお知らせいたします。

1. 中期経営計画策定の背景

当社は、2016年12月に創立70周年を迎えました。1946年に創立し、「人生是誠也」を経営の理念として、「顧客の満足」を経営の基本として、早くから海外に目を向けた事業の展開を推し進めてまいりました。しかし、2015年11月期決算を業績のピークとして、中国経済の減速、原油安の影響を受けた新興国経済の停滞など、経営環境は不透明となり、当社の主力商品である機械関連を中心とした指標は前年度を下回る状況にあります。このような状況下で、当社は将来の安定的な収益基盤を確固たるものにするため、次の企業像を目指します。

- 1) 日米中亜4極の結集、経営資源の最適化によるグループ売上高1,000億円企業
- 2) 新商品・新分野・新市場での新規ビジネス創出による脱機械専門商社企業
- 3) 個性的な企業体の創造による顧客満足度業界No.1の真のグローバル企業

2. 基本方針

1. の目指す企業像づくりの一環として、今般

『日米中亜4極体制 マルカグローバルイノベーション 新たな創造 更なる飛躍』をテーマとして中期経営計画を策定いたしました。

当社は日米中亜の4極がさらに結束し、100年企業に向かって下記の重点戦略を実行し新生マルカを目指してまいります。

3. 重点戦略

当社グループは、設備機械の販売を中心とした事業の展開を行っておりますが、過去においては設備投資の動向に大きく左右される事業環境にあり、安定的に収益を確保できる事業、成長性の高い事業への取り組みが課題であると考えます。

中期経営計画の成長戦略として、次の6つを掲げます。

① **【高付加価値ビジネスの創造】**

- ・エンジニアリング機能を持った技術商社への変革
- ・システム販売、ターンキー販売の推進
- ・MM会を核とした独自商品群の構築

② **【海外拠点への資源シフト】**

- ・海外の地場企業との取引開拓
- ・海外現地スタッフの増員、積極幹部登用（経営の現地化）
- ・域内商品、現地商品の開発

③ **【経営体質の強化】**

- ・営業利益率の向上
- ・営業効率化、リクルート強化
- ・グループ会社管理のさらなる徹底

④ **【成長分野への進出、新規事業の推進】**

- ・食品機械市場への本格参入
- ・ロボット取扱いの倍増
- ・M&A推進による事業の多角化と多様化
- ・建設機械輸入商品の取扱いとアジア市場拡大

⑤ **【人材育成の実践】**

- ・海外要員の育成と確保。
- ・女性管理職の育成と増加
- ・プロフィットシェアリングを含む業績連動評価制度の導入

⑥ **【ガバナンス・コンプライアンスの徹底と資本政策】**

- ・社内管理体制及び輸出貿易管理の強化
- ・株主利益還元率の増加。総還元性向 40%を目標
- ・資本の効率化。M&Aに投資
ROE 10%以上を目標

4. セグメント別事業戦略

各セグメント別事業戦略は次の通りです。

【産業機械】

- ① 既存大手ユーザーの取引深耕
- ② 新規分野、新商品の商権拡大
 - ・食品機械、ロボット
- ③ M&A推進による新規事業開拓

- ④ エンジニアリングビジネス拡大。システムインテグレーター機能の取込み
- ⑤ MM会機能を発揮による商品拡大と市場拡大
- ⑥ 射出成型機の中国、アジアにおける商権確立
- ⑦ 管製作所製品の増産。北米市場へ拡大

【グローバル機材】

- ① 輸入商品・自動化機器など機材商品の拡充
- ② 東日本・中日本の市場拡大

【建設機械】

- ① 港湾荷役業界、大手基礎業者への深耕
- ② 輸入建設機械商品を中心とした、建設機械取扱い商品の拡充
- ③ クレーン及び高所作業車増車などのレンタル商品を充実

【海外事業】

- ① 米州の工作機械新商権を確保。射出成型機シェアアップ。I T I 社飛躍的拡大
・管製作所製品の拡大。メキシコ市場の設備需要の増大に対応
- ② 中国市場における設備自動化ニーズの取り込み
- ③ アジア市場の自動車業界設備需要対応。自動車部品輸出事業のさらなる量的拡大
食品機械の東南アジア・中国市場へ展開

【新事業】

- ① M&Aの積極推進による新事業拡大
- ② システムインテグレーター機能発揮（管製作所）
- ③ 物流事業の自社取り込み

5. 中期経営計画数値目標(連結)

中期経営計画における数値目標は次の通りです。

連結売上高・営業利益・経常利益

(単位：百万円)

	2016年度実績	2017年度予想	2018年度予想	～	2020年度予想
売上高	47,708	52,000	57,000		65,000
営業利益	1,657	1,800	2,200		3,000
経常利益	1,709	1,970	2,400		3,200

本資料記載の将来に係わる一切の記載内容は、発表時現在において入手可能な情報に基づき推計したものであり、今後様々な要因により実際の施策、業績と異なる可能性があります。

以上